

# かつしか 区議会だより

## 第1回定例会

2月	16日	本会議（議案の付託等） 予算審査特別委員会
	17・18・22日	常任委員会（保健福祉、建設環境、文教、総務）
	24日	議会運営委員会
	25日	本会議（代表質問・一般質問）
	26日	本会議（一般質問、議案の付託・議決） 常任委員会（保健福祉、総務） 議会運営委員会
3月	3～5・8・9・11日	予算審査特別委員会
	12・15～17日	常任委員会（保健福祉、建設環境、文教、総務）
	18・22・23日	特別委員会（地域活性化・区民サービス向上対策、危機管理対策、都市基盤整備）
	25日	議会運営委員会
	26日	本会議（議案の付託・議決等） 常任委員会（保健福祉、文教、総務） 議会運営委員会

主な内容 2・3面…代表質問 3・4面…一般質問 5～7面…予算特集 8面…可決された議案ほか

No.248 令和3年（2021年）4月25日発行 葛飾区議会 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎3695-1111 FAX5698-1543



中川奥戸展望デッキからの風景

## 葛飾区基本構想を可決 令和3年度予算が成立

今回の定例会では、区長の所信表明を受け、4会派からの代表質問と、10名の議員から一般質問が行われました。また、葛飾区基本構想や令和3年

度葛飾区一般会計予算をはじめとする区長提出議案38件と、葛飾区議会会議規則の一部を改正する規則の議員提出議案1件が可決されました。

### 可決された議案

議案名下の分は意見の分かれた議案（各会派の賛否は8面参照）

【区長提出議案等 38件】

▼ 予算 10件

▼ 令和3年度一般会計予算分

▼ 令和3年度国民健康保険事業特別会計予算分

▼ 令和3年度後期高齢者医療事業特別会計予算分

▼ 令和3年度介護保険事業特別会計予算分

▼ 令和3年度駐留事業特別会計予算分

▼ 令和2年度一般会計補正予算（第9号）分

▼ 令和2年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）

▼ 令和2年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

▼ 令和2年度一般会計補正予算（第10号）

▼ 令和2年度一般会計補正予算（第9号）

▼ 令和2年度一般会計補正予算（第8号）

▼ 令和2年度一般会計補正予算（第7号）

▼ 令和2年度一般会計補正予算（第6号）

▼ 令和2年度一般会計補正予算（第5号）

▼ 令和2年度一般会計補正予算（第4号）

▼ 令和2年度一般会計補正予算（第3号）

▼ 令和2年度一般会計補正予算（第2号）

▼ 令和2年度一般会計補正予算（第1号）

▼ 令和2年度一般会計補正予算（第0号）

廃止する条例 2件

▼ 生業資金貸付条例分

▼ 生業資金貸付事業を廃止する。

▼ 高齢者借上住宅条例分

▼ 高齢者借上住宅を廃止する。

一部を改正する条例 15件

▼ 区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

▼ 区議会議員の期末手当の支給月数を改める。

▼ 区長等の給与等に関する条例

▼ 区長及び副区長の期末手当の支給月数を改める。

▼ 事務手数料条例

▼ 食品衛生法施行令の改正による営業許可業種の見直しに伴い、事務手数料を徴収する事務を改めるほか、規定の整備をする。

▼ 児童館条例

▼ 渋谷児童館の位置を改める。

▼ 学童保育クラブ条例分

▼ 渋谷学童保育クラブを廃止する。

▼ 保育所の設置等に関する条例分

▼ 西亀有保育園の位置を改めるほか、所要の改正をする。

▼ 地区計画及び防災街区整備地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

▼ 東立石四丁目地区防災街区整備地区計画等の区域内における建築物の制限について、所要の改正をする。

▼ 区立公園条例

▼ 奥戸一丁目鬼塚公園を新設する。

▼ 区立児童遊園条例

▼ 水元三丁目児童遊園を廃止する。

▼ 体育施設条例

▼ 堀切橋少年硬式野球場の位置を改めるほか、所要の改正をする。

8面に続く

政治家の寄附は、禁止されています。また、暑中見舞等時候の挨拶状（答礼のための自筆のものを除く。）を出すことも禁止されています。

議員等政治家が、お祭り、親睦旅行会、会合などの行事に寄附や差し入れ等をしたたり、お祝い金（出産・新築等）、贈り物（お中元・お歳暮等）をすることは、公職選挙法により罰則をもって禁止されており、要求した人も罰せられます。

# 区政を聞く 代表質問(要旨)

## 自由民主党議員団

社会状況の変化を的確に捉えた  
持続可能な財政運営を

### 当初予算案及び今後の財政運営

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言もあり、地域経済が疲弊して大幅な税収の減少が確実な状況の中、経営改革の取り組み方針も含め、どのような考えで予算編成を行ったのか伺う。

答：民サービスを低下させることなく新たな日常にも対応し、さらに新型コロナウイルス感染症対策が継続することも念頭に、地域の活力を回復させる取り組みを併せて盛り込まなくてはならないと考えた。歳入が大幅に落ち込むという判断の下、内部管理経費の見直しや事業の実施時期や導入時期を先送りするなど、歳出の見直しに徹底的に取り組んだ。さらに、新型コロナウイルス感染症対策やデジタル化の推進など新たな区政の課題にも効率的に予算を配分した。

### 他の質問項目 財政調整基金の今後の活用方法 など

本区におけるSDGsの取り組み  
SDGsを一層推進するために、今後「SDGsかつしか」をどのような体制で推進していくのか伺う。

答：区を挙げた取り組みとしていくためには、区職員はもとより、区民・事業者などへ普及啓発し、理解を促進しながら協働・連携を図っていくことに取り組む。

### 総合庁舎の移転

問：総合庁舎の立石駅北口駅前への移転など

答：総合庁舎整備の基本的な考え方は、全面移転を示した基本計画、基本プランをなかつたこととして、やり直すというものである。総合庁舎整備計画は破綻したことを認め、白紙に戻すのが筋だと思ふ。見解を伺う。

### 今後の公共施設の在り方

問：公共施設の工事先送りによる第2期葛飾区有建築物保全工事計画への影響と社会の変化を見据えた計画の見直しをどう考えているか伺う。

答：公共施設の在り方については、地域とより一層の協働を進め、さまざまな魅力あるコンテンツを活用した観光事業の推進や、新たな観光資源の創出、国内外に向けた効果的な情報発信などに取り組む。

### 学校の閉校方針

問：学校の閉校は、子どもたちの学習・生活の場という基本的な教育条件の一つであると同時に、生涯学習やスポーツなど最も身近な地域コミュニティの拠点、災害時には地域の避避所として利用される重要な役割を担う公共施設であり、改革に当たっては、児童・生徒、教職員、地域住民の幅広い意見を聞く必要がある。意見が、そのプロセスが、切ない。意見を聞くべきと思ふ。見解を伺う。

### 資源確保

問：総合庁舎整備の基本的な考え方は、全面移転を示した基本計画、基本プランをなかつたこととして、やり直すというものである。総合庁舎整備計画は破綻したことを認め、白紙に戻すのが筋だと思ふ。見解を伺う。

### かつしか区民連合

地域の実情に即した支援策と持続可能な財政運営環境の構築を

### 新型コロナウイルス感染症への対応及び対策

問：3年度当初予算案  
令和3年度当初予算案編成における基本的な方針と、編成結果に対する区民の見解を伺う。

答：新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な税収減を見込み、内部管理経費の見直しや一部事業の先送りなど経営改革の取り組みをより一層推し進め、歳出抑制も図りつつ、新型コロナウイルス感染症対策やデジタル化の推進についても積極的に予算案に計上した。コロナ禍の劇的な変動期を乗り越えられるよう全力で取り組んでいく。

### 葛飾区議会公明党

持続可能な財政運営の推進と脱炭素社会構築に向けた取り組み

### 令和3年度当初予算案

問：令和3年度当初予算案編成における基本的な方針と、編成結果に対する区民の見解を伺う。

答：新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な税収減を見込み、内部管理経費の見直しや一部事業の先送りなど経営改革の取り組みをより一層推し進め、歳出抑制も図りつつ、新型コロナウイルス感染症対策やデジタル化の推進についても積極的に予算案に計上した。コロナ禍の劇的な変動期を乗り越えられるよう全力で取り組んでいく。

### 脱炭素社会

問：東京都が発表した「ゼロエミッション東京」には、水素エネルギーの普及と拡大が明記されている。本区も水素ステーションを積極的に誘致すべきと思ふ。区の見解を伺う。

答：水素エネルギーの普及と拡大は、脱炭素化に向けた重要な取り組みであり、本区も積極的に誘致していくことに取り組む。

### 防災減災対策

問：防災減災対策の原動力となる緊急車両の冠水・水没防止のための対策と事業との連携について見解を伺う。

答：緊急車両に関する関係団体との防災研究会の場などを通じて、車両置場の浸水リスクの把握や、車両避難に向けた業界内での仕組みづくりなどの支援を、口滑りな復旧復興活動が図られるよう、連携を深めていく。

### 都市計画マスタープラン及び葛飾区住居基本計画

問：都市計画マスタープラン改定で現状の課題を見える化し進捗を比較検証できるようにしているか。

答：現状を把握し進捗を分かりやすく伝えるため、改定においては進捗管理として数値での指標設定、駅周辺開発状況などの把握・検証のための容積率の利用状況の数値化を検討する。問：良好・良質な住宅を形成するため、住居基本計画などを契機に誘導していく必要があるかと思ふ。見解を伺う。

答：良好・良質な住宅を形成するため、住居基本計画などを契機に誘導していく必要があるかと思ふ。見解を伺う。

### 環境政策

問：脱炭素社会の達成には、他自治体との連携が欠かせないと思ふ。見解を伺う。

答：昨年8月の特別区長会で「ゼロカーボンシティ」特別区を提案し、決定された。4月から本区が事務局となり、10区の参加による調査研究を開始する。

### 資源循環型地域社会の形成

問：資源循環型地域社会の形成について見解を伺う。

答：資源循環型地域社会の形成については、他自治体との連携が欠かせないと思ふ。見解を伺う。

### SDGsの達成に向けた取組

問：日経の調査で全国3位になった理由と、評価された事業について伺う。

答：SDGsの達成に向けた取組については、他自治体との連携が欠かせないと思ふ。見解を伺う。

### 特別養護老人ホームの大規模改修

問：特別養護老人ホーム大規模改修について、東京都との協議状況を伺う。

答：特別養護老人ホーム大規模改修については、東京都との協議状況を伺う。

### 介護報酬と介護事業

問：介護施設における研修費等の助成について、拡大を検討していただきたいが、区の見解を伺う。

答：介護施設における研修費等の助成については、拡大を検討していただきたいが、区の見解を伺う。

### 小菅・堀切地域のまちづくり

問：堀切蒲田駅について電車の鉄橋通過による騒音と振動の苦情がある。レールの継ぎ目を防止効果のある伸縮継目にするよう京成電鉄に要望すべきと思ふ。区の見解を伺う。

答：堀切蒲田駅について電車の鉄橋通過による騒音と振動の苦情がある。レールの継ぎ目を防止効果のある伸縮継目にするよう京成電鉄に要望すべきと思ふ。区の見解を伺う。

### 自由民主党議員団

自由民主党議員団

自由民主党議員団

自由民主党議員団

自由民主党議員団

自由民主党議員団

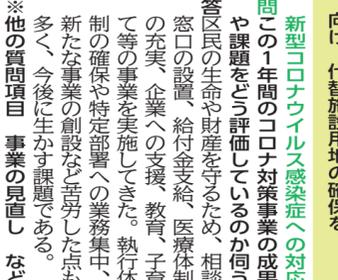
自由民主党議員団

自由民主党議員団

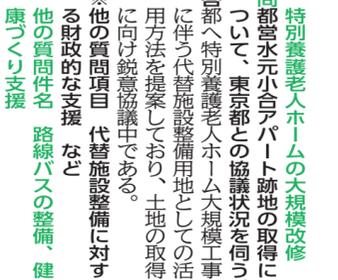
自由民主党議員団



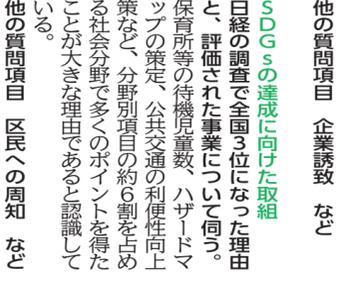
京成線堀切蒲田駅前



葛飾区総合庁舎新館



中小企業診断士による経営相談



脱炭素化に向けた水素ステーション



ポトルtoポトルの流れ

問ボトルボトルの目的と具体的内容を伺う。

答使用済みの製品を新品の同じ製品に再生利用する水平リサイクルとして実施するもので、飲料業界団体と協定を締結し、収集したペットボトルを原則100%ペットボトルに再生する。来年度は、約1千700トン、約6千800万本を再生する。

※他の質問項目 ごみの資源化 など

職員の新型コロナウイルス

感染防止策と健康管理

問直接区民にサービスを提供する区職員へのPCR検査実施について伺う。答濃厚接触者以外の検査は、民間福祉施設等と同様に区運営の福祉施設等の職員についても検討していく。

※他の質問項目 テレワーク など

在宅における新型コロナウイルス

感染症患者の健康観察業務

問自宅療養者や入院待機者数が最も多かったときの状況とその認識を伺う。答1月中旬に600人を超える状況となり重症化するリスクの高い方への速やかな対応と、保健所の感染症対策業務への支援の必要性を認識した。

※他の質問項目 健康観察 など

他の質問項目 文化・芸術活動をされている方への支援

日本共産党葛飾区議会議員団

子育て支援施設の整備方針の廃止 学校プール廃止の見直しを

新型コロナウイルス感染症に関する問題

問感染症が発生した高齢者施設などへの応援態勢として区の職員を派遣する態勢をつくるべきかと思うがどうか。答知識や資格等が必要であり、区職員で対応するのは、困難と考えている。

※他の質問項目 社会的検査など

子育て支援施設

問児童館全廃の方針を改め、児童館は子ども未来プラザとは別の施設として整備・建て替えるべきかと思うがどうか。

答基幹型児童館の更新に当たっては、妊娠前から切れ目ない子育て支援を実現し、多様な用途に役立ていく地域の身近な子育て支援施設である子ども未来プラザとして整備していく。

各課において関係する部局の文化的資源を活用・連携することにより、庁内調整が図られるものと考えている。

※他の質問項目 文化財保存 など 他の質問項目 新型コロナウイルス感染症COVID-19、共生社会の実現 希望の光・ワフチンの迅速な接種と掘切地区の高台化による水害対策を

学校プール

問学校内にある全てのプールに熱中症対策として屋根の設置、水温やプールサイドの温度を下げる遮光ネットの設置などを実施すべきかと思うがどうか。



小松中学校の新しいプール

答現在でも各学校の状況に合わせた熱中症予防対策を行っており、現時点で学校内にある全てのプールに屋根や遮光ネットを設置することは考えていない。

※他の質問項目 加温式プールの設置 など

他の質問項目 業務委託の拡大

かつしか区民連合

真のSDGsを目指す 早急に文化芸術振興計画の策定を

本区の文化政策

問観光・文化政策を調整・推進するために、専門的な知見を入れて地域との連携や調査・保存・活用・振興、庁内調整など分野横断的な組織が必要と考えるがどうか。

答各分野の事業実施の際に、街の魅力向上や地域文化創出の視点を持って

問ワフチンの管理に必要なディープフリーザーの配置場所と電源の確保および個別接種を行う場合の搬送方法の検討と予約受付との連携についてどう構築していくのか見解を伺う。

答東京都が行う児童福祉法に基づく指導検査は法令上1年に1回の検査が義務付けられているが、本区が行う子ども・子育て支援法に基づく指導検査はそのような規定はない。しかし、1年間に多くの検査ができるよう計画を立てて取り組んでいる。

問監督結果を施設ごとにホームページで公開すべきかと思うがどうか。

答本区で実施した保育施設の指導検査結果を公表するため準備している。問AIを活用した保育所入所選定で、次年度からのくわい早く内定通知を出せるか。



ディープフリーザー

答AI選考の導入を契機に、利用調整における事務処理手順も併せて整理し、1週間程度の短縮を目指す。

※他の質問項目 事業者選定 など 他の質問項目 総合庁舎・区役所庁舎の建替、新型コロナウイルス対策・ワフチン接種、不妊治療助成、区立学校のプール・学校改築の入札、金町駅周辺のまちづくり

※他の質問項目 接種クーポン など 他の質問項目 子育て支援、掘切菖蒲園駅周辺のまちづくり

無所属 (※4)

無所属 (※4)

無所属 (※4)

問保育の質・安全性の確保のため区の指導監査の実施の徹底を

答保育の質の確保は重要である。1年間全ての施設の指導監査を実施すべきではないか。



認証保育所での保育の様子

問専門家のサポートとして中小企業診断士による経営相談を無料で実施している。手数料補助は、他自治体の動向等を注視していく。なお、区特別融資に関しては、申し込み要件の厳格な確認を行う必要上、事業者が来所し申請する方法を継続する。

※他の質問項目 孤立等への対策強化

他の質問項目 新型コロナウイルス感染症に対する保健所の対応、新型コロナウイルス感染症を踏まえた施設の対応、区の事務事業の見直し

無所属 (※5)

区独自の介護従事者処遇改善や香害の理解・周知の促進を

問介護従事者の人材確保・定着 問処遇改善にかかる財源確保を伺う。答社会保障審議会等で議論されており、引き続き国の動向を注視していく。

※他の質問項目 施策の成果 など

無所属 (※6)

人工香料による健康被害、いわゆる香害の周知拡大

問区作成の香りエチケットのチラシを設置する公共施設の拡大を求める。答保健所、保健センターのほか、区役所、消費生活センター、地区センターなどで配布し、広く周知している。

※他の質問項目 区職員に向けた香害の理解・周知の取り組み など 他の質問項目 コロナ禍を乗り越え、区民のくらしを支えるための取り組み、羽田空港新ルート、公契約条例

無所属 (※6)

無所属 (※6)

無所属 (※6)

無所属 (※6)

無所属 (※6)

無所属 (※6)



新型コロナウイルス対策緊急融資

問区立学校の車椅子利用者トイレへの多目的シート設置の考えを伺う。

答区内21病院との定期的な打ち合わせを継続し、危機状況に対し、医師会などと連携しながら対応する。

※他の質問項目 保健所体制の強化

学校施設のバリアフリー化

問小中学校の車椅子利用者トイレへの多目的シート設置の考えを伺う。

答学校改築時の車椅子利用者トイレ整備に合わせ設置を行うとともに、既存校舎内にも整備を進めていく。

※他の質問項目 エレベーター など 他の質問項目 GIGAスクール構想を踏まえた今後の学校教育

無所属 (※6)

問区立学校の車椅子利用者トイレへの多目的シート設置の考えを伺う。

答区内21病院との定期的な打ち合わせを継続し、危機状況に対し、医師会などと連携しながら対応する。

※他の質問項目 保健所体制の強化

学校施設のバリアフリー化

問小中学校の車椅子利用者トイレへの多目的シート設置の考えを伺う。

答学校改築時の車椅子利用者トイレ整備に合わせ設置を行うとともに、既存校舎内にも整備を進めていく。

※他の質問項目 エレベーター など 他の質問項目 GIGAスクール構想を踏まえた今後の学校教育

無所属 (※6)



区立学校の車椅子利用者用トイレ

# 令和3年度予算の概要

## 各会計予算

	金額	対前年度増減比
一般会計	1,994億2,000万円	△2.7%
国民健康保険事業特別会計	462億3,800万円	△1.6%
後期高齢者医療事業特別会計	107億9,800万円	1.1%
介護保険事業特別会計	421億400万円	3.3%
駐車場事業特別会計	6億1,300万円	△12.8%
合計	2,991億7,300万円	△1.6%

## 区民一人当たりの予算額（一般会計）

災害対策や地域活動、文化振興などに	39,405円
清掃事業や環境対策に	12,867円
高齢社会、健康づくり等、福祉と衛生に	188,540円
中小企業に対する融資など産業経済に	10,815円
道路・公園整備やまちづくりに	31,399円
生涯学習の支援や小中学校の運営などに	49,842円
常勤職員の給料等に	54,824円
特別区債の償還などに	2,497円
国民健康保険・介護保険事業などの繰出しに	37,979円
合計	428,168円

人口は463,691人（令和3年1月1日現在）から算出し、合計には、予備費等が含まれていません。

2月16日の本会議において、令和3年度各会計予算案5件を審査するために、37名の議員で構成する予算審査特別委員会が設置されました。

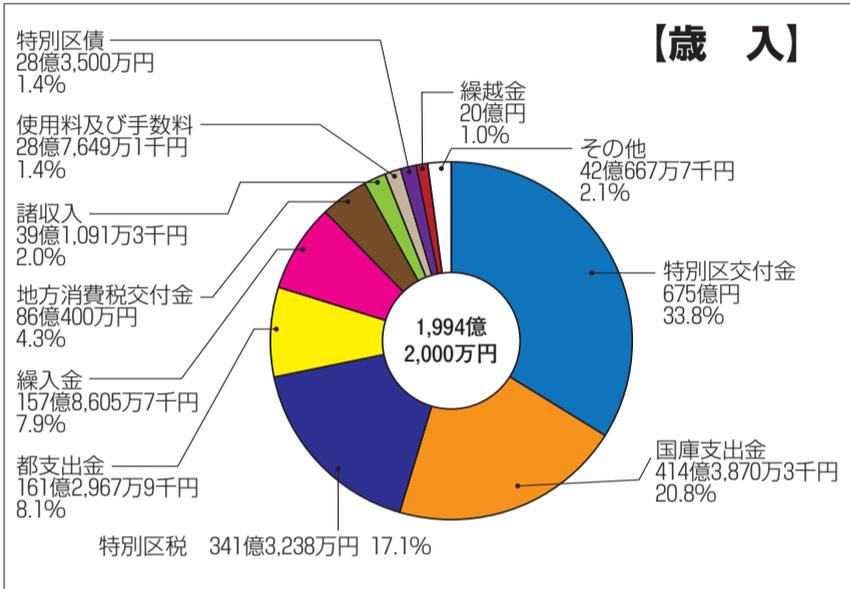
予算案は、3月3日の総括質疑の後、各分科会で審査を行い、その後、予算審査特別委員会において各会計予算の採決を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定し、3月26日の本会議において可決されました。

## 予算審査特別委員会

## 令和3年度予算を審査

# 一般会計

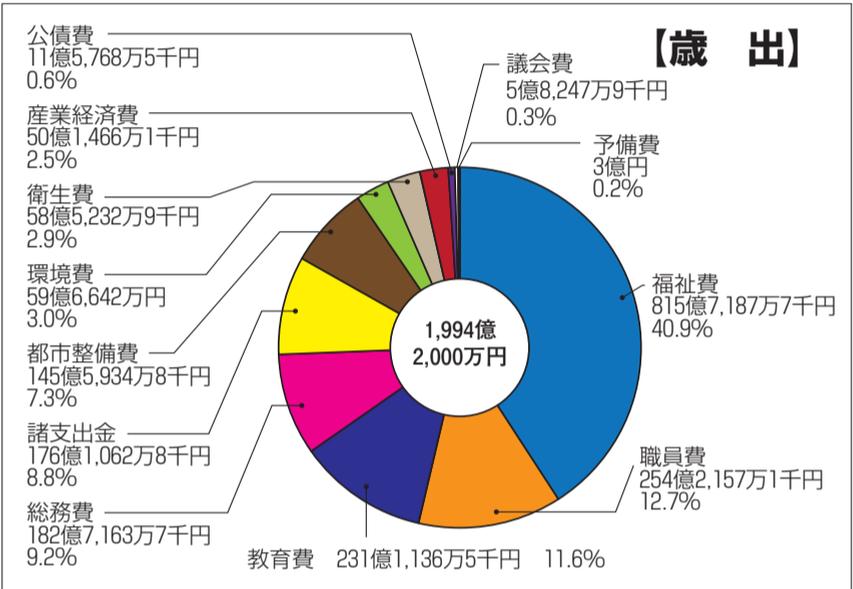
### 【歳入】



※その他は分担金及び負担金など

※千円未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

### 【歳出】



## 令和3年度予算に対する各会派の意見

この面から7面まで、令和3年度予算に対する各会派の意見を掲載しました。

### 自由民主党議員団

万全なコロナ対策を講じ、誰もが安心して暮らせる葛飾の実現を

総務費では、総合庁舎整備は整備費と検討内容を議会でも議論したうえで素案を策定すべきなので、素案の6月提出は先送りするよう求める。シルバー人材センターは、高齢者の雇用対策の面も担っているため、業務委託の際は配慮を求める。区の新型コロナウイルス感染症対策本部には、区民のニーズを適切に把握しスピーディーな対策を求める。テレワークは、災害時の業務継続性の確保や職場環境の整備の面からも、さらなる推進を求める。行政手続きのオンライン申請など国民の利便性向上のため導入されたマイナンバーの活用に向け、一層のマイナンバーカードの普及を望む。

産業経済費では、新型コロナウイルス対策緊急融資をはじめとする融資や借入れの際は、金融機関と交渉を行い、低い金利での借入れをすべきである。区内事業者の状況や意向を十分に把握し、スピード感をもってきめ細やかな支援をしてほしい。

福祉費では、ウェルピアかつしかの子ども発達センター並びに成年後見制度エンディングサポート事業について、さらなる周知活動・利用促進を要望する。また、事業者と高齢者の見守りに関する協定締結の迅速な推進を強く要望する。子ども未来プラザ小菅及び東四つ木について、単に建設変更だけでなく、ガイドライン・整備指針について十分な議論と検証をし、何が一番良いか再度の検討を望む。また、私立保育園の定員の空きが目立ち始めているのは構造的な問題と考える。子育て支援の担い手である保育園が安定的に運営できるように、利用者と園双方に寄り添った子育て支援を要望する。

衛生費については、区内の野良猫に関する団体等と相互理解を図り、良い方向に向かうよう検討を望む。

環境費では、ゼロエミッションかつし

かの実現に向け、区民・職員へのさらなる啓発を望む。

都市整備費では、立石駅周辺エリアマネジメントについては、デッキ整備、高架下活用、駅舎デザインを含め南北を通して一つの立石であるという認識の下、検討する事を望む。中高層集合住宅等建設指導要綱の条例化は、社会情勢に鑑み行うよう要望する。技術系職員については、資格取得を支援するとともに経験者・有資格者を採用する新方式も検討するべきである。南水元の

中川橋梁新設については、区施行区間において早期に着手するよう要望する。安全・安心のため、公園への防犯カメラの設置とともに、防災用品の配備・かまどベンチ等の公園防災設備のさらなる充実を要望する。また、河川空間のオープン化を推進するよう要望する。教育費では、児童・生徒がタブレット及びデジタル教科書を使いこなせるよう、教員の研修を充実してICT教育を効果的に進められるよう強く求める。小中学生を犯罪から守るために、スマホ利用啓発チラシのさらなる活用を望む。にほんこステッパアップ教室では指導員を増やし、より多くの子どもに手を差し伸べられたい。教育委員会の水泳指導の方針については、天候に左右されない、学校外の屋内温水プール

の利活用に賛成する。合築校など、効果的な学校改築を進めていくよう要望する。電子図書館の運営に期待しつつ、今後の図書館のあり方について、公共施設の活用と併せ検討を望む。柴又の重要文化的景観を守るための早急な整備計画の策定と、地元の声を聞くワークショップの開催、並びに「川基」の文化的財産が失われることがないように求める。

### 葛飾区議会公明党

きめ細やかな新型コロナウイルス対策と未来を見据えた行政運営

令和3年度の当初予算は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けての予算編成であったが、財政調整基金の活

用など、工夫したことを評価する。新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施と新しい生活様式による防災、子育て、

福祉、教育など各施策の展開を求める。総務費では、チャットボットを活用し区のホームページ上で検索できるように望む。金町駅前活動センター「カナマ

チふらっと」は、区民ニーズを捉え各世代が利用できる柔軟で魅力ある施設運営を望む。女性視点の防災対策は、SNS等も活用し子育て世代への情報発信を求める。子どもの権利を子ども自身が学ぶための啓発活動の全庁的な推進を求める。多様性の理解・促進を図るオンライン講座等の充実を望む。マイナンバーカード発行の迅速化と普及促進を望む。

産業経済費では、地場産業と従業員を支援する区独自の支援の検討を求める。区民、飲食店等にとって、より効果的なフードフェスタの開催を求める。産業見本市の集客増のための工夫・検討を望む。

福祉費では、複合施設の経費は予算書の表記の工夫を求める。地域包括支援センターの専門職による介護予防事業の試行・充実を期待する。5歳児健診後のフォロー体制の充実とアイルシートの効果的な活用を望む。産婦健診は健診後の支援の充実を望む。子ども未来プラザは、既存の鎌倉も含め計画7館が整備されるまで計画、推進、精査のためのコーディネーターの配置を求める。

衛生費では、がん検診の受診控えがおこらないように工夫を求める。子宮頸がん予防接種は正しい知識と情報の周知に努めるよう望む。がん患者ウィッグ等購入費助成はきめ細やかな制度設計と相談体制の構築を求める。

環境費では、地球温暖化対策の推進は区と区民が協働し環境行動に取り組めるように要望する。資源循環による環境負荷低減を図るため、燃やさないごみの資源化目標8割達成を望む。SDGsの取組みでは17の目標達成に向けて推進を望む。

都市整備費では、高齢者等住宅対策事

業での入居相談等のさらなる充実を求める。新小岩駅周辺開発整備事業は、委託の成果を生かすための庁内連携を望む。立石駅周辺の街づくりは、三つの再開発地区を一つと捉え、商業業務の連携や回遊性向上の取組みを求める。堀切地域では荒川橋梁架替事業と連携した街づくり、都と連携した歩行空間改善の推進を求める。奥戸ローズガーデンの再整備後はバラの魅力やVR等で発信し、さらなる賑わいの創出を要望する。葛飾区金魚展示場の施設改善を求める。

教育費では、今後の水泳指導の実施方法に関する方針の決定について再考を強く求める。どのような家庭環境でも全ての区立小中学生がGIGAスクール構想による教育を平等に受けられるための施策を強く求める。葛飾学力伸び伸びプランを発展構築させた総合的な学力向上事業経費は、十分な成果を期待する。児童・生徒の体力向上や健康促進に資するための実効性ある取組みを求める。中学生への贈呈図書が電子図書へと発展的発展内容と変更になったが、これまで以上に効果のあるものとするために積極的に指導室が関わることとする。奥戸温水プール館2階の活用として、区民の健康長寿に資するための効果的・効率的な事業の導入を要望する。

国民健康保険事業特別会計ほか各特別会計は、概ね了とする。

### かつしか区民連合

#### 危機管理への財政対応力と 誰一人取り残さない社会への対応を

新型コロナウイルス感染症により先行きが見通せない状況が続く中、より効率的・効果的な財政運営はもとより、緊急事態に備えた財政対応力を構築すること、誰一人取り残さない社会を構築するための財政運営を要望する。 **総務費** 財産運用収入の基金利子収入は貴重な財源である。安全確実な運用を前提とし、地元金融機関に配慮しつつ、ネット銀行の活用等検討を行い、

運用益の確保を求める。総務管理費の文書管理は公文書管理条例の制定スケジュールを早急に示すことを要望する。 協働推進は事業提案制度やファンド創設など協働を進めるための新たな仕組み作りを求める。民間建築物耐震診断・耐震改修はアドバイザー派遣支援の充実や無接道家屋への対策の検討を求める。区民費の文化施設維持管理経費の指定管理者への補填は当初予算ではなく、補正予算や予備費で対応するのが適切である。予算執行については十分留意し、議会への報告を求める。

産業経済費 新型コロナウイルス対策緊急融資の返済・据置期間の延長は高く評価する。今後実態把握を行い、事業者への的確な支援を求める。 **福祉費** 社会福祉費の生活困窮者自立支援はアウトリーチ支援員に期待する。新小岩子ども発達センターは建物内の交流保育室との連携を要望する。重度障害に対応したグループホーム整備計画を評価する。高齢者福祉費の高齢者虐待防止は家族介護者への支援を求める。児童福祉費の児童相談所開設は熱意ある職員確保を求める。子育てひろばは再編と公共施設内での充実を求める。子ども・若者支援事業は子ども食堂への支援を評価する。子ども未来プラザ整備に当ってはネットワーク・ニューボラ・災害対策の検証を求める。

衛生費 衛生管理費は保健所の職員体制の確保を求める。公衆衛生費は新型コロナウイルス後遺症などへの相談窓口の開設を求める。新型コロナウイルスは区民への丁寧な対応・情報発信を要望する。 **環境費** 屋上・壁面緑化推進事業では執行体制の工夫を求める。公害防止指導事務経費の交通騒音は今後航空機ルートが増えられた際のモニタリング強化と落下物リスクを基に安全管理と運行管理の協議を求める。清掃関連施設は土壌汚染状況調査の報告の前に施設設計が先行しており、議会報告も含めその都度説明することが必要である。

**都市整備費** 総務事務経費は、循環パスの新規路線と新たな地域交通のデモ走行、モデル実施のしつこく計画を地

域と共に進めることを求める。新小岩公園の再整備はまちづくり協議会と議論をする中でJR貨物の廃線敷の活用を進めよ。公園費では中川テラスと堤防道路の状況調査と対策を求める。 **教育費** 教育総務費の旧校舎管理は必要な補修は行い、活用方法の検討を要望する。教育活動指導は小学校教科担任制について東京理科大学の協力などを視野に一念な準備を求める。教育情報化推進はオンライン活用準備と教員の授業力向上及び不登校対策の検討を求める。学校図書館はコディネーターの充実を求める。にほんごステップアップ教室は委託導入による質の向上に期待する。不登校対策は校内適応教室の拡充と支援体制整備を求める。 学校改築では学校プールについて丁寧に進めるよう求める。小学校費はスクール・サポート・スタッフの全校配置を評価する。学校ジオトップはSDGs実現に向け、計画的な支援を求める。社会教育費は若者の社会参加支援事業の拡充を求める。はたちのつどいを活用し区と新成人の繋がりを図るよう求める。特別会計は概ね了とする。

### 日本共産党葛飾区議会議員団

#### 新型コロナウイルスの感染拡大を防止し 区民の暮らし福祉を守る予算に

コロナ禍の下、区民の生活が深刻になり「いつまで続くのか」の不安が広がっています。 わが党議員団は、この間、新型コロナウイルス対策に関して10回の申し入れを区長にしてきました。来年度予算は、こうした申し入れにそってPCR検査の対象者の拡大・社会的検査が拡充されました。しかし、十分ではありません。ワクチン接種がはじまりましたが、ワクチンだのみになると再び感染爆発の危険があります。だからこそ、「検査・保護・追跡」の徹底と保健所体制の強化が必要です。 **区民の暮らしに背を向ける予算** 来年度予算は、国民健康保険料・介

護保険料の値上げ、後期高齢者医療保険料は減免措置の撤廃によって区民に新たな負担を押し付けるものとなっています。高齢者住宅の縮小など住宅政策の後退、公立児童保育クラブの廃止区立保育園の民営化など子育て支援策の後退が盛り込まれています。 歳入減を口実に学校施設など身近な公共施設などの改修が先送りされました。

**学校プールの廃止は反対** 区教育委員会は、昨年12月突如学校プールの廃止を打ち出しました。区営プールと民間の温水プールで水泳指導を実施するというものです。 広く関係者や住民に意見を聞かず、このような方針を決定したことは重大です。とりわけ、教育長は、「子どもの意見を聞く必要はない」という趣旨の発言をしました。これは子どもの権利条約を逸脱するものです。

学校における水泳指導は、いのちを守る重要な教育であり、プールを設置しないということは、これを放棄するものです。 天候に左右されない水泳指導のために必要な遮光ネットや屋根の設置など、今できる必要な対策に関して教育委員会は後ろ向きです。学校プール廃止という決定は白紙撤回をすべきです。

**再開発には湯水のように税金投入** その一方で、急ぐ必要のない大型事業・再開発などへの支出は目に余るものがあります。 金町駅南口の再開発では、使用目的が不明な施設を開発するために、16億円の支出。東金町一丁目西地区再開発は、特定企業を特別扱いするもので、その推進のために36億円の土地を購入するのも問題です。

区役所建替計画の見直しに伴い、使用目的が変わるにも関わらず、立石駅北口の再開発では、14億円を支出する予算となっていることも容認できません。

### 独自に条例提案、予算組替動議を提出

わが党議員団は、切実な区民要求実現のため、4つの議員提出議案と当初予算に対する組替動議を提案しました。その内容は18歳までの医療費の無料化、学校給食の無償化、後期高齢者医療費助成の実施、雇用促進若者サポートステーション事業創設、ジェンダー平等の事業化など36項目・75億円の組替です。

これは予算案の3.8%にすぎないものです。残念ながら多数の賛同を得られず可決されませんでした。引き続き区民の暮らしに寄り添った施策になるよう頑張ります。

### 颯新かつしか

#### 実際には整備しない庁舎計画で 都に申請、裏で別計画を検討中

都・地権者を騙すような立石駅北口再開発準備組合の本組合設立認可申請手続きに区が加担、自治体として不適格。当初予算には、これら不適切な点も散見されるが、新型コロナウイルス対策も盛り込まれ区民の暮らしを考え、消極的に賛成。庁舎等のハコモノ施設計画は増え、一方、学校プールは天候・コスト等から、今後は全ての小学校に整備しない方針。有権者に甘く、子供には厳しい。今秋の区長の大事な行事への対策か。 **総務費** 庁舎整備を考える場合、今回だけでなく、将来の建替も合わせて検討する必要があります。区分所有権の再開発ビルの庁舎建替は大変難しい。管理組合を東西棟別にしても、建替える場合は東棟だけで行うことは困難で、多数の一般の区分所有者から賛成を得る必要があり、区は不利な条件も飲まざるを得ない事態が予想されるため、新庁舎は区有地に所有権を整備すべき。 **福祉費** 子育て広場は保育所に設置してあるものは利用頻度が低く、中には年間を通して利用者がいない施設もあった。子ども未来プラザ等の利用しやすい公共施設に特化して設置すべき。

これは予算案の3.8%にすぎないものです。残念ながら多数の賛同を得られず可決されませんでした。引き続き区民の暮らしに寄り添った施策になるよう頑張ります。

### 無所属(※1)

#### 予算作成の改善と 真摯な経営改革を

経営改革を指示し経費を削減した具体的事業なし。区長査定の場でも減額した事業なし。取り組み不十分。ふるさと葛飾益まつり事業を区が直接契約する方式に改めたのは良。事業費1千200万円削減極めて良。他の負担金丸投げ事業にも及ぼし事業改善を図るべし。 総合庁舎整備検討業務支援委託は令和3年度0円、4年度限度額1千680万円の債務負担行為。委託契約でこのような予算計上は不適切。整備の基本的考え方や新たな計画の方向性を議会の了承を得て、補正予算を計上すれば足りる。指定管理者への損失補填を予想し、委託料に加算するのは不適切。補填は委託料ではないので別項目で表示すべき。補填基準、額について議会の了解を得るまで執行を停止すべし。国の新子育てプランによれば、待機児童が3年間100人台で推移している自治体は、施設の開設ではなくマッチング事業を中心に支援。私が数年来提案してきた強力な弾力化の推進、巡回バスの実施等を国が全面支援。これ以上の施設整備は、待機児童を解消出来ないだけでなく、保育施設の空き状況(令和2年2千528人)を更に増大させ保育園の経営破綻を招く。公設民営保育園の民営化は一刻も早く対応すべし。多額の財源対策となり経営改革に寄与。また年

都市整備費 南水元138号線は区施行を先行し、中川橋梁・岩槻街道の拡幅は都へ早期実現をしっかりと働きかけよ。 **教育費** 昨年、区教委が貸し出したルーター1千378台は、令和3年3月中旬に強制回収されるが、区教委・福祉部は子供たちのためにネット環境が無い家庭の保護者を積極的に支援すべき。コロナ禍で体育施設の指定管理者には損失補填を約1億700万円も払うが、課外活動指導員には部活動が無いとして1円も休業補償を払わない。他区を見習い課外活動指導員の待遇改善を求める。

度経費の現金活用で保育の質の向上に資する。子ども未来プラザ鎌倉は立派な施設であるが、子どもの安全な生活に支障のある点や、働く人に不便不都合な点が多々ある。そこで働く職員、更に子育て支援部の他の職員からの意見聴取を行い、十分検証して今後の未来プラザの整備に生かすべし。

無所属 (※2)

コロナ禍を克服し、その先を見据えた豊かな区民生活の確保を

まもなく始まるコロナワクチン接種への十分な準備と、区民への的確な情報発信を行って頂きたい。総務費 歩きタバコやポイ捨て等へのマナー遵守の啓発活動を求める。本区の災害医療体制に対し関係機関と十分な協議の上避難所生活が長期化した際の医療面のフォロー体制、通信体制や備蓄品の確保等に対するきめ細やかな検討を要望する。地域防災につき新しく導入されたアプリ、「かつらッパ」の効果的な運用を求める。また女性視点からの防災備蓄品、配慮を地域の避難所運営会議に積極的に取り入れる事を要望する。産業経済費 本区のものづくり産業を支える事業者への支援とケアを求める。福祉費 コロナ禍においても、もの忘れ予防健診の機会が失われず認知症を早期発見し地域医療に迅速に繋いでいく事を要望する。介護予防事業につき高齢者等サロンでの保健師等の専門職の導入に期待する。衛生費 働く世代への健康づくりの輪が広がる事を期待する。マンモグラフィや子宮頸がん検診等をはじめ各種がん検診の受診率向上への工夫を要望する。特に子宮頸がん検診は保護者や児童生徒への知識理解の機会を学校教育現場において導入して頂きたい。都市整備費 区内の駅周辺の更なる駐輪場整備を求める。各バス停におけるベンチや屋根をはじめとする設備の充実、サイクル&バスライドの更なる設置を要望する。新金線旅客化実現に向けた検討を引き続き行って頂きたい。教育費 一人一台配布

されるタブレットを活用し子供達が質の高い授業を受けられるよう期待したい。学校現場における不登校児へのケア、いじめ防止対策の強化を求める。

無所属 (※3)

赤ちゃんにウイルス性難聴 コロナ禍の子供に居場所を

児童福祉費の新生児聴覚検査費に、ウイルス検査を追加すべき。ウイルス性難聴は完治の可能性があるだけに、先進事業として取り組むべき。環境費の樹木・樹林保全事業費では、樹木は火災時に延焼を防ぐ役割がある。大木に育った木のメンテナンスも予算化すべき。ごみ収集作業経費の動物死体処理経費では、鎌倉地域周辺で多発した猫の毒殺に関する情報を、各課が共有・連携し対処するとの対応を評価する。街づくり事業経費の連続立体交差事業は、高砂駅以東の京成電鉄沿線用地取得まで時間があるが、住宅は人生の中で大きな比重を占める重要問題。早期計画と情報提供で、区民の不安解消にできるべき。街路灯整備経費では、デザイン型街路灯の普及検討等、商店街に賑わいを与える施策が必要。公園費では、鎌倉地域のまんだら公園等のボール遊び禁止の規制緩和と、時間制限など新たなルールを定めるべき。教育総務費では、わいせつ教員の教育現場への復帰を問題視すべき。問題を起した教員の現場復帰など、許してはならない。小中合築校舎建設経費は、合築に際しては地域の理解を得られるように慎重に進めていただきたい。小学校費では、今後改築される小学校にプールは新設されないが、拠点を決めて屋内プール設置も検討課題とすべき。一般教員・教材等管理経費では、全小中学校の道徳授業で、北朝鮮による拉致事件を描いたアニメ「めぐみ」DVDを活用した人権教育を評価する。放課後支援事業経費では、わくわくチャレンジ広場の運営委託と地域人材との連携した見守りを進めるべき。子供の居場所確保に地域格差があってはなら

無所属 (※4)

区民の痛みを寄り添う 施策の迅速な実現を

産業経済費 コロナ禍で停滞、悪化した事業への経済支援を希望する事業者の申請負担軽減策として、金融機関が代理申請業務を行うことを認めて頂きたい。現在本区の当該融資では申請、受理共に一桁台で、改善が必要であることは明白である。地域事業を長年支えてきた地元金融機関が事業者をサポートする形での代理申請を認めることは、事業者の身体的、精神的負担の軽減につながり、更には申請数の増加も期待できる。金融機関の代理申請は他の自治体では既に行われており成果もあげている。本区事業者の生活を守るために一刻も早い認可の実現を求む。災害対策費 昨年、本区は避難所における新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを独自作成したが、収束見通しが立たない現段階では、課題が残る避難所への誘導より在宅避難の周知徹底が有益である。その際、紙媒体から情報を得ることが圧倒的に多い高齢者に配慮して、区のHP情報を基に在宅避難推奨リーフレット、チラシを作り配布することを求む。また、本区が民間と結んでいる防災協定に加えて防災備蓄の保管庫としてのコンビニ二活用の検討を求める。コンビニへの在庫管理の委託は無駄の無い災害備蓄管理が可能となり、新たな葛飾区版SDGsの活用施策の1つになり得る。教育総務費 一人一台のタブレット導入の前倒しとオンライン活用授業の取り組みについて評価する。葛飾区が子育てと教育の場として選択されるためにも魅力ある施策の充実が必要である。中学生海外派遣事業に加えて、東京理科大との連携も活かした付加価値のある学びの更なる充実、発展を望む。

無所属 (※5)

区民の生命と生活を最優先に、福祉の基盤を支える予算を

コロナ禍でなくても、区民の生命と生活を守り、福祉の基盤を支えることを最優先に予算を割り当てるのが求められている。駅前再開発事業における再開発ビルの保留床購入、負担金は区財政の大きな後年度負担になると考えるため、見直しを求める。10年間の協定に基づくリリオ亀有リノベーションプロジェクト負担金のような歳出は行うべきではない。ハコモノへの財政投入は災害時避難の拠点となるもの以外は、厳に慎むべき。人権推進においてジェンダーレス、及びあらゆる差別の撤廃に注力した啓発事業の充実を求める。保育・介護従事者の効果的な処遇改善、人材確保策を求める。安定的な運営と人材確保を公的責任において行うことが必要と考えることから公立保育園を減らすべきではない。羽田空港新ルートの騒音や落下物の生命への危険について認識し、飛行ルート見直しを申し入れるべき。公共交通網の充実がバス事業者の効果的な人材確保支援、公共交通の利用促進を早急に進め、地域公共交通会議の設置を求む。わくわくチャレンジ広場について、児童指導サポーターの報償費の引き上げの検討を求める。小学校改築のプール未設置について、水泳指導の実施方法に関する方針を、現場の教員や子ども、保護者を含めて議論し直す必要があると考える。拙速に進めるべきではない。国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の3事業特別会計については、国の負担割合の増加を求め、個人・事業者への福祉・支援制度の周知方法について、あらゆる媒体、方策を検討し、実施していくことを求める。

無所属 (※6)

新型コロナウイルスに負けない区政運営を

百年に一度という経験のない新型コロナウイルスによって、私共の生活は一変してしまった。重くのしかかる財政の圧迫や収束の見えないコロナに病んでいる区民の方々を思う時、胸が痛むのである。こうした厳しい状況のもとで編成された令和3年度の予算については、評価する。区長の尚一層のリーダーシップを期待する。以下主要な項目につき意見を述べる。今後の区政運営の一助になれば幸甚である。総務費については、区民生活を第一にした予算であると評価する。まず学校避難所の防災力強化については、妥当な判断であり、安全な区民生活を守るために、不可欠である。福祉費の予算編成については、評価する。新型コロナウイルスによって、障害者の就労支援状況が著しく低下する等深刻である。また障害者の大規模な就労面接が中止になったり、障害者を取り巻く環境は厳しい。こうした状況下で本区の障害者の就労支援を定着させる為に、就労支援員を8人配置することは、今後に期待できる取り組みである。衛生費については、評価する。今後の保健所の活躍に期待する。都市整備費については、評価する。先般の立石駅において、目の不自由な方がホームから転落し、死亡するという惨事が起きた。本区も駅にホームドアの設置を鉄道事業者に要請していることは承知しているが、このような事故を繰り返さない為に、一刻も早いホームドアの設置を求める。教育費については、妥当な予算編成である。特に注目すべき事業として、小中学校の児童・生徒に対し、1人1台のタブレット端末の教育は、期待している。他会計についてはとす。

予算審査特別委員会委員長報告(要旨)

予算審査特別委員会は、令和3年度各会計予算について審査を行うために、2月16日の本会議において、37名の議員を構成委員として設置されました。当委員会は、詳細な審査を行うために、第1から第4までの4つの分科会を設置しました。

各分科会の審査事項は、第1分科会が一般会計予算のうち、議会費、総務費、産業経済費及び職員費を、第2分科会が福祉費及び衛生費を、第3分科会が環境費及び都市整備費を、第4分科会が教育費、公債費、諸支出金、予備費ならびに各特別会計予算を所管しました。

3月3日の委員会では、総括質疑を実施し、9名の委員から区政運営全般について、多角的かつ大局的な観点に立つて質疑が交わられました。

また、各分科会を3月4日から9日までそれぞれ1日ずつ開催し、所管事項の審査を行った結果、各分科会長から審査が終了した旨の報告書が委員長宛て提出されたので、当委員会は、3月11日に、各分科会長から審査経過及び各会派からの意見の報告を受けました。

その上で、付託議案5件について順次採決を行い、「令和3年度葛飾区一般会計予算」、「令和3年度葛飾区国民健康保険事業特別会計予算」、「令和3年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計予算」、「令和3年度葛飾区介護保険事業特別会計予算」、「令和3年度葛飾区駐車場事業特別会計予算」は、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

# 次の定例会は6月開催予定です

## 可決された議案

議案名下の分は意見の分かれた議案  
(各会派の賛否は下欄参照)

### 1面下段からの続き

#### ▼事務手数料条例

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の改正に伴い、非住宅部分における建築物エネルギー消費性能適合性判定手数料等の算出方法に係る面積区分を改めるほか、所要の改正をする。

#### ▼指定居宅介護支援の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例

指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準の改正を踏まえ、書面による記録の保存等を電磁的記録等によることができる規定を設ける。

#### ▼指定介護予防支援の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例

指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の改正を踏まえ、書面による記録の保存等を電磁的記録等によることができる規定を設ける。

#### ▼国民健康保険条例

保険料率を改めるほか、所要の改正をする。

#### ▼介護保険条例

令和3年度から令和5年度までの各年度における保険料率を定めるほか、所要の改正をする。

### 契約 7件

#### ▼本田中学校外構整備工事請負

▼小中一貫教育校高砂けやき学園高砂小学校・高砂中学校給排水衛生設備工事請負

▼小中一貫教育校高砂けやき学園高砂小学校・高砂中学校給排水衛生設備工事請負

▼小中一貫教育校高砂けやき学園高砂小学校・高砂中学校給排水衛生設備工事請負

▼小中一貫教育校高砂けやき学園高砂小学校・高砂中学校給排水衛生設備工事請負

▼西小菅小学校電気設備(増築及び改修)工事請負

### その他 3件

▼基本構想  
区基本構想を改定する必要がある中で、葛飾区基本構想の議会の議決に関する条例の規定に基づき、議決を求める。

▼土地の買入れ  
東金町二丁目(街)くくり用地として、土地を買い入れる。

▼特別区道の路線の認定  
高砂六丁目3006番5から高砂六丁目3008番5まで(延長25・31m)

### 【議員提出議案 1件】

#### ▼一部を改正する規則 1件

▼区議会会議規則  
多様な人材の議会への参画を促進するため、欠席の届出に関する規定の一部を改正する。

## 結果の出た請願

請願名下の分は意見の分かれた請願  
(各会派の賛否は下欄参照)

### 不採択 2件

▼安心・安全の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書を国に提出することを求める請願

▼介護保険料引き下げを求める請願



## 意見の分かれた案件

(○賛成、×反対)

件名	会派名 ( )内は会派所属議員数											議決結果	
	自民(11)	公明(9)	区民(5)	共産(5)	颯新(2)	無※1(1)	無※2(1)	無※3(1)	無※4(1)	無※5(1)	無※6(1)		
予算	令和3年度葛飾区一般会計予算												可決
	令和3年度葛飾区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○		
	令和3年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計予算												
	令和3年度葛飾区介護保険事業特別会計予算												
	令和3年度葛飾区駐車場事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		
令和2年度葛飾区一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		
条例	葛飾区公契約条例	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	可決	
	葛飾区生業資金貸付条例を廃止する条例												
	葛飾区高齢者借上住宅条例を廃止する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		
	葛飾区学童保育クラブ条例の一部を改正する条例												
	葛飾区保育所の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○		
	葛飾区国民健康保険条例の一部を改正する条例												
その他	葛飾区基本構想	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	
	土地の買入れについて												
請願	安心・安全の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書を国に提出することを求める請願	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	不採択	
	介護保険料引き下げを求める請願												

自民=自由民主党議員団、公明=葛飾区議会公明党、区民=かつしか区民連合、共産=日本共産党葛飾区議会議員団、颯新=颯新かつしか、無=無所属

### 区議会だよりに記載の会派等の構成議員をお知らせします(令和3年3月26日現在)

会派名	構成議員名								
自由民主党議員団	秋本とよえ 梅沢とよかず 峯岸良至	秋家聡明 工藤きくじ	安西俊一 高木信明	池田ひさよし 筒井たかひさ	伊藤よしのり 平田みつよし				
葛飾区議会公明党	牛山正 小山たつや	江口ひさみ 出口よしゆき	上村やす子 向江すみえ	くぼ洋子 山本ひろみ	黒柳じょうじ				
かつしか区民連合	うてな英明	大高拓	かわごえ誠一	中村けいこ	米山真吾				
日本共産党葛飾区議会議員団	おりかさ明実	木村秀子	中江秀夫	中村しんご	三小田准一				
颯新かつしか	うめだ信利	小林ひとし							
無所属(※1)	会田浩貞								
無所属(※2)	きょうづか理香子								
無所属(※3)	鈴木信行								
無所属(※4)	つたえりな								
無所属(※5)	みずま雪絵								
無所属(※6)	むらまつ勝康								

### 広報委員会

- 委員長 秋本とよえ  
副委員長 小山たつや  
委員 高木信明  
委員 江口ひさみ  
委員 かわごえ誠一  
委員 木村秀子  
委員 中島俊一  
(区議会事務局長)

## 次の「かつしか区議会だより」は7月発行予定です